

木刀による剣道基本技稽古法及び日本剣道形 講習会報告

於：中村橋南スポーツ交流センター

剣道教士八段 横内良道先生を講師にお招きし標記講習会を開催しました。

今年度は小学生・中学生から大人まで75名の参加者が集まりました。

横内先生には幅広い参加者にむけ、興味をもって形の稽古に臨めるよう、わかりやすい言葉で竹刀の剣道と形の稽古の繋がりなどをお話頂きました。

木刀での形の稽古では、竹刀での稽古と異なり、一本取りたい、打たれたくないという気持ち湧かないため、相手への疑いや迷いを持つことなく、正しい形を繰り返し学ぶことができ、そのことが竹刀での剣道に活かされるとありました。

午前は木刀による剣道基本技稽古法を、午後は日本剣道形小太刀の形三本、太刀の形七本を指導いただきました。目に見える動作・技術、理合いをふまえた理解など、多くを指導いただきました。

形について教わるだけでなく自ら探求心を持ち続け研究することが大切であり、たとえ今、理解できなくても後々わかるときがくるともお話いただきました。

毎年新たな学びがあり、大変濃い内容の講習会です。次回もぜひ奮ってご参加ください。

講習会の様子



教士八段 横内良道先生

